

令和7年第9回函館市教育委員会定例会 会議録

- | | |
|--------|---|
| 1 日 時 | 令和7年（2025年）9月24日（水） 午後1時30分 |
| 2 場 所 | 市役所本庁舎5階教育委員室 |
| 3 出席者 | 藤井教育長，木村委員，小葉松委員，國谷委員，井口委員 |
| 4 欠席者 | |
| 5 事務局 | 土生生涯学習部長，堤学校教育部長，宮田生涯学習部次長，
上野学校教育部次長，鈴木管理課長 |
| 6 傍聴者 | 0人 |
| 7 付議事項 | 別紙議事日程のとおり |

■藤井教育長

- 開会宣言 午後1時30分
- まず，日程第1，議事録署名人の指名について，木村委員，小葉松委員を指名する。
- 次に日程第2，月間事業報告について，事務局の動きについて報告を求める。

■生涯学習部長

- 8月21日だが，「北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会」が稚内市において開催された。木村委員，國谷委員におかれては参加いただき感謝する。
- 次に，8月24日だが，8月5日より開場していた入舟町前浜海水浴場が最終日を迎え閉鎖となった。
- 次に，市議会の関係だが，9月1日から17日までの日程で，第3回市議会定例会が開会された。9月4日には，予算決算特別委員会総務分科会が開催され，教育委員会関係分として，令和5年度決算に関し2名の委員から，決算以外の議案に関し2名の委員から質問があり，11日に開会された市議会定例会本会議において，一般会計補正予算や条例改正など20件の議案が可決，令和6（2024）年度各会計決算14件が認定された。
- なお，今回提出された議案には，議案第14号「教育委員会の委員の任命の同意について」が含まれており，10月23日で任期満了を迎えられる木村委員を再任することについて同意をいただいている。
- 次に，一般質問だが，12日から17日までの3日間で行われ，13名の質問者のうち，8名の議員から，教育委員会に係る質問があった。最後になるが，第3回市議会定例会の質問一覧と教育委員会に対する主な質問と答弁をまとめたものをGoogleドライブにアップロードしているので，後ほどご覧いただきたい。
- また，この期間において，資料に記載のとおり，参考資料を配付している。

■学校教育部長

- 8月19日だが，市立函館高等学校で夏季休業明けの全校集会在，8月25日には，市

立小中学校および義務教育学校で始業式が行われた。

- 次に、8月28日だが令和7年度第7回教育委員会臨時会を開催し、全国学力・学習状況調査に関する案件等について議決いただいた。
- また、この期間に教育委員会に寄せられた市民の声を、Googleドライブにアップロードしているので、後ほどご覧いただきたい。

■藤井教育長

- 事務局の動きについて何かあるか。
(意見なし)

■藤井教育長

- 次に、日程第3 議案第1号「令和7年度 教育委員会の事務の点検および評価報告書の決定に関し、議決を求めることについて」学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- このたびの教育委員会の事務の点検および評価については、函館市教育振興審議会において2回、専門部会である点検評価部会において3回の審議を経て、8月25日付けで答申があったことから、点検・評価の結果と併せて、報告書として取りまとめたものである。本日は、その決定に関して議決をいただこうとするものである。
- なお、函館市教育振興審議会からの答申については、171ページ以降に掲載している。審議会の意見としては、各事業については、今後も社会情勢や教育を取り巻く環境の大きな変化を踏まえて改善・充実を図りつつ、その内容について、より一層市民への周知に努める必要があるといった意見をいただいたところだ。
- 議決をいただいた後、市議会全議員に報告書を配付するとともに、教育委員会ホームページへ掲載し、評価結果を市民へ公表したいと考えている。

■藤井教育長

- 議案第1号について何かあるか。

■國谷委員

- 三角がついている項目を見ていると、28ページに学習習慣を定着させることが課題となっているとあるが、全都道府県を比べると、北海道は学力テストの全国平均が低い傾向にあるかと思う。北陸地方等では全国平均が高い傾向となっているかと思うが、その違い等の分析はするのか。

■学校教育部長

- 全国学力・学習状況調査の結果を見ても、函館市は家庭学習の時間が少ない傾向となっている。昨年度の質問でも、スマホ等でインターネットを使う時間が長く、家庭学習の時間が少ないという傾向が出ていたことから、教育指導課では、全国の学習状況の数値と学力の部分と比較して、その関係を精査している状況である。

■國谷委員

- 学力の比較的高い北陸地方等では、親子3世代で暮らしているご家庭が多いこと等、家庭の環境と学力に何か因果関係があったりするのかなと思いついて見ている。良いところを見習えば、より学習習慣が身につくのではないかという気がしている。

■学校教育部長

- そうした部分も踏まえて、調査分析をしていきたいと思う。

■小葉松委員

- 大分昔の話になるが、秋田県の学力が高い時代があったかと思う。その時は、いろいろ秋田県の状況を調べて、子どもたちの地域での交流や結びつき等について、定例会で報告されていた気がするが、最近はどうなのだろうか。

■学校教育部長

- 秋田県は変わらず学力が高い傾向がある。

■藤井教育長

- 研究をされている方の分析では、秋田県の子供達は地域のボランティア活動や町会活動等の参加傾向が群を抜いて高く、北陸でも同じ傾向があることから、そういったことと学力に関連があるのではないかと等という話があった。

■木村委員

- 以前、秋田県で教員をしている知人は、特別なことはやっていないと話していたが、北海道の教員からしてみると、特別なことに取り組んでいたりする。例えば、今、道教委で取り組んでいるチャレンジテストのようなシステムを立てたものを、以前から取り入れていたり、教育長が言ったように、竿灯まつりに町会で取り組む等、地域コミュニティでの活動があることが秋田県の強みであったりもするようだ。

■学校教育部長

- 自分が指導主事であった際にも、秋田県での学習力は非常に高いと聞いていた。塾に通っているという子どもは少ないが、家庭での学習習慣が身についているということが、学力の向上に結び付いているのではないかと等という話が10年ほど前に出ていた。

■木村委員

- 別件になるが、審議会の委員から答申をいただいたとのことで、その内容を見ると、各課が担当している事柄に対して、その評価は適当であり、客観性を持ったものとなっているということは、各課の担当者の取り組みが緻密に行われていたとのことで、また、三角評価の部分についても、粛々と受け止めながらも、進めることが出来ない理由等も明らかにしている点についても、審議会として評価していると感じた。

■藤井教育長

- 議案第1号について、原案のとおり決定してよいか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第1号について、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第4 報告第1号「函館市文化財保護審議会委員の解嘱について」生涯学習部長から説明を求める。

■生涯学習部長

- 松崎 水穂氏について、本人の死去により、令和7年8月10日をもって解嘱となった。後任は、現委員の任期満了に伴う委員改選とあわせて、令和7年12月に委嘱を行いたいと考えている。

■藤井教育長

- 報告第1号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 次に、日程第5「今後の主な日程について」管理課長から報告を求める。

■管理課長

- 次回、令和7年第10回定例会は10月20日(月)の開催を予定している。10月13日(月・祝)には2025函館マラソンコミュニティランニングが千代台陸上競技場で開催されるほか、10月18日(土)からは第35回函館市青少年芸術教育奨励事業児童生徒書・美術展が芸術ホールで開催される予定である。

■藤井教育長

- これで、定例会を終了する。

■終了宣言

- 午後1時55分

議事録署名人 木村 雅彦

〃 小葉松 洋子

調製者庶務係 庭田 真由